

震災からの復旧・復興に際して被災地内外の金融機関等による被災事業者等への積極的な支援の取組事例や、創造的復興、地方創生につながる先進的な取組事例を収集（5分野、全61事例）。

このような事例を公表、共有することにより、「新しい東北」の創造を支える金融の姿を示すとともに、これからの復興・創生に向けた金融機関等による取組を促進。

【被災地の課題・復興のステージに応じた取組例】

①震災被害からの復旧・再生（24事例）

原災で移転を余儀なくされた事業者の
事業再開に係る支援

（あぶくま信用金庫）

原発事故により休業を余儀なくされた富岡町の事業者（ホテル業）に対し、グループ補助金や外部機関の活用等によりいわき市内での事業再開を支援。

震災と原災により厳しい状況にある福島県浜通りの事業者を積極的に支援。



ホテル外観

②本業支援・販路の開拓（7事例）

海外販路を目指す被災事業者での統一ブランド
確立による海外販路開拓支援

（七十七銀行）

石巻市の水産加工業者6社が、海外販路開拓を目指し統一ブランドを立ち上げ。七十七銀行が専門部署で各段階でのきめ細かな政府補助施策の活用提案や手続き支援、海外金融機関、外部専門機関と連携して支援。

取組を通じて3社が香港、台湾等への輸出を開始。

継続的な販路を確立するなど売上回復に向けた取組が実を結びつつある。



香港の商談会

③創業・起業、新事業開拓、成長支援（13事例）

専門家、自治体と協働したファンドによる
起業支援の取組

（盛岡信用金庫）

盛岡信用金庫、フューチャーベンチャーキャピタル（株）、盛岡市、滝沢村（現滝沢市）が直接出資の地域ファンド「もりおか起業ファンド」を設立。

将来の地域を担う起業をハンズオン支援を通じて、長い目で育てていくためのファンド。

人口減少等が深刻な震災後の地域において、技術力・経験豊富な人材の起業を地域で育てる体制を構築。



関係者によるファンド設立

④被災地域の再生・活性化に向けた取組（12事例）

大槌商業開発株に対する早期事業再建に向けた支援

（岩手銀行）

津波で被災したショッピングセンター「マスト」を運営する大槌商業開発株に対し、復興ファンド「岩手元気いっぱいファンド」を軸とした新規融資、グループ補助金の活用を通じて同社の再建を支援。

ショッピングセンターは震災と同年の平成23年12月に事業再開。地域暮らし、賑わいの核となる商業施設の早期復旧を実現し、地域の復興を促進。



復旧後の外観

⑤支援態勢の強化（組織全体としての継続的な取組）（5事例）

地元企業応援部の設置及び復興支援担当者の配置

（仙台銀行）

仙台銀行では、中小規模事業者等への復旧・復興及び成長を積極的に支援するため、事業再生担当者、復興融資担当者などを配置した「地元企業応援部」を設置。

じもとホールディングスとして積極的に取り組んでいる本業支援を通じ、宮城県と山形県をつなぐビジネスマッチングを推進。



山形県のスーパーマーケットとビジネスマッチング